

洛和会ヘルスケア学会報告内容について

洛和会丸太町病院感染防止対策室では、当院における針刺しを含む職員の血液体液曝露事例を対象に、以下の研究を行っております。本研究についてご質問などがございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究概要と利用目的】

医療現場における針刺し事故を含め、経皮(粘膜)への血液体液曝露は、血液媒介ウイルス感染症を罹患する危険性があり深刻な問題である。私の勤務する医療施設においても、年間10件(2025年度データ)の事故が発生しており、受傷機転は様々だが『針の不始末』による事故が大半を占めている。本研究では安全器材が導入されているにも関わらず、何故事故が生じてしまうのか、現場で働く医療従事者からのヒヤリングを基に、針を使用する際の作業手順や物の運用について見直すことを目的とした研究である。

【研究期間】

2026年6月1日～2026年11月15日

【個人情報保護の方法】

本研究は、洛和会倫理審査委員会の承認を得た上で実施する。収集したデータは匿名化し、個人が特定されない形でまとめる。

【研究への試料・データ提供による利益と不利益】

- ・利益:患者さん自身には特別な利益はありませんが、この研究結果が職業関連感染防止に寄与し、血液体液曝露に係る事故の減少につながる可能性があります。
- ・不利益:本研究では、患者さんに対する不利益はありません。

【研究終了後のデータの取り扱いについて】

本研究に関する資料・情報は、パスワード設定されたパソコンとUSB、または鍵のついた保管庫で保管します。保管する期間は、研究終了日から5年間または研究結果の報告日から3年間のいずれか遅い方とします。

【研究成果の発表について】

本研究の成果が論文や学会で公表されることがありますが、その場合も第三者に患者さんに個人情報明らかにならないように厳重に守られます。

【研究への試料・データ使用の拒否と中止について】

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者さんの試料・データを本研究に使用することはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問などがある場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問合わせください。

住所：〒604-8401 京都市中京区七本松通丸太町上ル

病院名・部署：洛和会丸太町病院 感染防止対策室

研究責任者(担当者)：西山潤

電話番号：080-4808-9039(内線 41357)

e-mail: nishiyama-jun@rakuwa.or.jp